

事物に先がける意識

ジョー・ダニエリ

最近、ハワイを離れたばかりの若い友人から電子メールを受け取りました。彼は海辺で多くの経験と陽光を得、新しい友達とたむろして、数ヶ月間幸せに島での生活を送り、本土に戻ったのです。

大きな痛みのある感染症を引き起こして・・・、ええと、詳しいことは省きますが、足の小さな虫刺されが弾痕のようになったと書いてありました。

彼への私の忠告は、「人生を進めていく」為にすべき緊急な「内的作業」を始末しなさい、でした。彼が滞在した間、この若者がどの生活領域においてでも、将来の職歴に関するどの形においてでも、歩みを踏み出す主体性に全く欠けているのを私は観ていました。彼は私に「僕の計画は計画をしないことです。」と、言いました。「まあ、それはうまくいかないわ。」と、私は彼に言いました。「あなたは自分の創造力を無意味な方法に費やして悪用し、誤用している。」彼は自分自身に相反していて、内的な葛藤を引き起こす一方で、芸術家としての名声を求めていました。実際彼には豊かな才能があるのです。誰かが彼に道を示すのを待っている様子でした。私は彼に対しその様な役を引き受けるつもりはありませんでした。彼は前進するのをとても嫌がっていました。ですから、「前進」の象徴として感染症が足に出て、数日間彼が動けない状態にしたのには驚きませんでした。私には分かりませんが、多分彼はその数日間を自己反省して正しい決断をするのに用いたでしょう。その事を願うだけです。

身体が兆しを示し、無視できない症状を見せる時は常に、意識に何か深刻な事が生じています。むしろ、霊的世界において、と言う方が良いでしょう。なぜなら、意識は霊的機能を全く果たさないからです。それで、指示する意識であるあなたは、人生をどの様に進んでいくかについてあれやこれと決断する事を求められます。そういう事なのです。だからあなたは何かがあまくいかない時には自分の身体的状況にはっとしたり、いらついたりします。自分の他の部分から人生でどうやっていくのかを決める様に求められるのです。それを行うには、自分の人生のごたごたをすっきりさせる気づきと勇気が必要です。

その若者と彼の感染症の話しが、重症のブドウ球菌による感染症でカウアイのある病院に入院するハメになった数年前の私自身の経験を思い出させました。あまりにも重症で私の問題が手に負えず、担当の医師は数名の仲間を呼びました。私の腰は骨まで冒されていて肉は膿んでもものすごく腫れあがっていました。こんなに悪化するまで長い間どうやって私は痛みを耐えていたのか、と医者たちはいぶかしがりました。ええとですね、私は私の全ての思いを虜にしていたある男性と関係を持っていたのです(それにティの木の葉^{訳注1}を用いたり自己催眠もしていました)。私は彼と一緒にいたかったのですが、毎回自分の心に耳を傾ける度に、「別れなさい」と告げられていました。

私は別れませんでした。膿瘍を切開しなくてはならず、一時間かかって・・・、これも詳しいことは省きます。ひどいものでした。それで終わりませんでした。感染症が治るのに二年間もかかりました。何をしても効くのは暫くの間だけでした。同毒療法？そうね！素晴らしい洞察で二次的層がたくさん現れて、語るには素晴らしい同毒療法でしたが、暫くするとまた膿痕。抗生物質？勿論です。摂取しました。それも大量に。最後の薬を飲むとすぐ、数日間殺菌薬なしでいると、新しい膿痕が出来るのです。

警告はこれ以上ない程に明らかで、あちこちにこのいやらしいものが出来始めてから、男性と関係が続けるのは無論難しくなりました。

長い話を手短かに言いますと、私は身体に深い傷痕を残しました。多くの傷にククイの実の油を用い、痕は消えました。ククイの実の油はハワイでは昔から皮膚に効く処方箋でしたが、膿そのものには利きませんでした。ある古い情報によるとククイの実の油は、石をも柔らかくするそうです。でも、薬よりも本当に効いて強力ながあります。身体 - 霊が自分自身の内的事柄について何かを伝えようとし続けるエネルギーの作用です。その事柄があまりにも生命エネルギーを消耗すると、あなたという身体 - 霊の仕組みが機能不全になり始めます。警告を発します。最初は夢を通してです。愚かな事をさらに続けると、身体的な状況が痛められます。これが行動している内的な霊であるク(ku)が、内的状況が良くないという事実にあなたの関心を引く為唯一残された方法なのです。

内的事柄をかたづけなければなりません。kaukau(自分で物事を検討する)し、物事を'oia'i'o(絶対的な真実)で見つめ、hihia(他の物事や人々とのごたごた)を探し出し、kala(清掃する)する必要があります。このことだけが健康と平安を取り戻させるのです。

身体の痛みや症状は内からのサインです。モノグラフ(Monograph)というサージ・キング訳注2によって開発され彼の著書で説明されている考え方は、自分自身の体を「読む」為の地球上で最も優れた入手可能なシステムです。理解しやすく、とても啓蒙的です。そして論理的でもあります。心と眼を開けさえすればよいのです。身体機能は霊の反映であるのがとても明らかなので、否定するにはとても頑迷な無知が必要です。

そうです、「身体は霊を反映する」といった事はちゃんと知っていたのですが、感染症の時は全く気にとめませんでした。自分が知っている事を無視している事実を私は意識で気づいていました。自分で起こす不快さや病気の症状は常に自分自身のものです。他の誰かが持っているのではなくて、自分が内的事柄に気づく為です。

私はついに、膿を中に持つ大きな腐った肉の塊のせいで胸が腫れ上がってしまいました。これには驚きました。私といたらこれまでの男性の関わりと、もう一人の男性との私を怯えさせる関係をどの様に進めたらよいかまだ分からずにいました。私には試す療法はもう何も残されていませんでした。

夢の中で私は最初にカウアイの診療所で私を診察した医者の方が聞こえました。「私がしたいことをするのが許されていたら、何かハワイのやり方を用いるんだが。」実際彼はその名称を言いました。でもそれをするのは許されていませんでした。近代的病院に

において彼は近代的方法を用いるのが課せられていたからです。でも彼は、この種のブドウ球菌による感染はこの島々では最も広く流行っている病気だ、と言いました。フナの方では、ある人々はそれが必要な時にだけ罹ります。身体 - 精神が、自己愛と自尊の念の欠如といった内的事柄に気づく為に必要だからです。他の人が触れられなくする醜く、痛い皮膚の腫れ物を通して表われます。意味が分かります？

「何かハワイのやり方・・・、何かハワイのやり方・・・。」と、翌日私は泣き声で言い続けました。自分自身の経験と医者達が私に告げます、「膿瘍は切開して膿を出さなくてはならない。さもなければ“汚れ”が残ってその箇所が治らず、毒が回ってしまう、等々・・・」、と。ノールウエーで私は既に、氷河の上で自分一人で、氷の様に冷たい湖水に助けられながら、外科用メスを使って自家製の外科手術をしたことがありました。

もう既に長い話になのでもう一度手短かに言いますと、私は胸を切開しなくてはならないという事実を無視する決心をしました。なぜなら私にはそれが信じられなかったのです。誰かが私の身体に私には想像も出来ない事をするのを許さなくてはならなかったからです。その痛みには耐えられませんでした。

しかし私は、何をすべきかを頭で理解しようとしないうちに決意しました。そして、自分の na'auao(勸)を尊び、人生での全ての関係をきちんとする事をきっぱり決め、自分に誓いました。

次の日私は、あるカフナ^{訳注3}に招かれ(驚くことに、これ自体が不思議な側面を持つ話なのです)、彼に持ち帰って塗布する為の薬を頂き、ノニの実を採ってそのジュースを飲むという私の考えに賛同してもらいました。生のノニを飲んだ経験がある人には、私がどのような思いをしたかお分かりでしょう。でも皆さん、申し上げますが、私はそれを毎日飲むのが楽しみだったのです。ノニが大きな木の下で植わっている庭を私は見つけ、持ち主は臭いが消えるので、私がその発酵した実を集めるのを快諾しました。避けられない事を私はしました。大家さんから遠く離れ、私はその実をシャツでつぶしましたのです。

二日後には腫れはたったの半分になり、一週間ですっきり消えました。

皆さん、本当に身体は私たちが望む通りに何でもこなしてくれます。私の身体が完璧に膿痕を吸収して消し、他の為すべき事を全て為し、胸の細胞を復元出来るという、強力な信念を私は確立しました。地上の全ての医師は外科手術を主張したでしょうが、見事にうまく行きました。

事物に先がける意識は秘伝の希望などではありません。真実です。しかしながら、其々の不快さ、病気、病は独自で、扱うには独自の思考と処方が必要です。必然的に変化し、独自のマナ^{訳注4}が独自の創造を生起する宇宙ネットワークには、どこにも当然とみなされるものは存在しません。

私は例の男性との関係に戻り、膿瘍が再び出ました。私の出身のオーストリアでは、悪

い考えを持つとその種の皮膚状況を生じさせると言われます。当時私は多くの悪い考えを持っていました。いろんな理由から人生でかつて無かった程私はばらばらで、人生をどの様に進めるかについて重大な決定をしなくてはなりませんでした。しなくてはならないことはしなくてはなりません。でも、自分の身体が再び怒りの警告を与えるのに気をつけなければなりませんでした。

劇的な出来事の後、ある関係がある時点で私の意識を閉じていたのは疑いもありませんでした。多くの学びを掴み取り、私は止めなくてはならないことは止めました。

例の若者から、彼の腐った足が動き出すのを恐れている状況から彼が動き出すのを妨げていると電子メールをもらった時、かつて学んだ事の一つが新たによみがえりました。人生での関係について新たに kaukau(自分で物事を検討する)し、kala(清掃)する大きな必要に気づいたのです。他の人が膿痕で苦しんでいるのを見て、自分自身が再び膿痕で苦しむのから今や逃れられました。今回は適切な洞察を持つことが出来ました。身体の傷は身体 - 霊であるク(ku)が何を伝えようとしているのかに耳を傾けるのを思い出させます。例の男性と別れた後は、当時ひどく痛んだあれ程大きな膿痕は二度と出ません。自分との平安を取り戻した今、私はあの時は正しいことをしたと知っています。

自分が完璧な協力関係において身体 - 霊の仕組みの一部であるのを決して、絶対、無視しないで下さい、というのが皆さんへの私からの忠告です。あなたが考え、感じ、経験する全てに意味があります。分かるまでに時間がかかるでしょうが、自分自身を信じて、最高を期待してください。自信が人生における唯一の防御なのです。

訳注 1 リュウゼツランの一種で、薬効があるとされる。

訳注 2 彼の正式名はサージ・カヒリ・キングで、アロハ・インターナショナルの主宰者で、フナ・インターナショナルの代表である。

訳注 3 カフナ(kahuna)とはハワイ語で、一般的に達人、あるいは師匠を意味します。

訳注 4 メアリー・カウェナ・プクイとサミュエル H. エルバート著『ハワイ語辞典』によると、マナ(manā)とは超自然の、あるいは聖なる力を意味します。

翻訳 M. Hayashi (2005)

Copyright 2005 Aloha International